

# 再生可能エネルギーの出力制御における オンライン化の推奨について

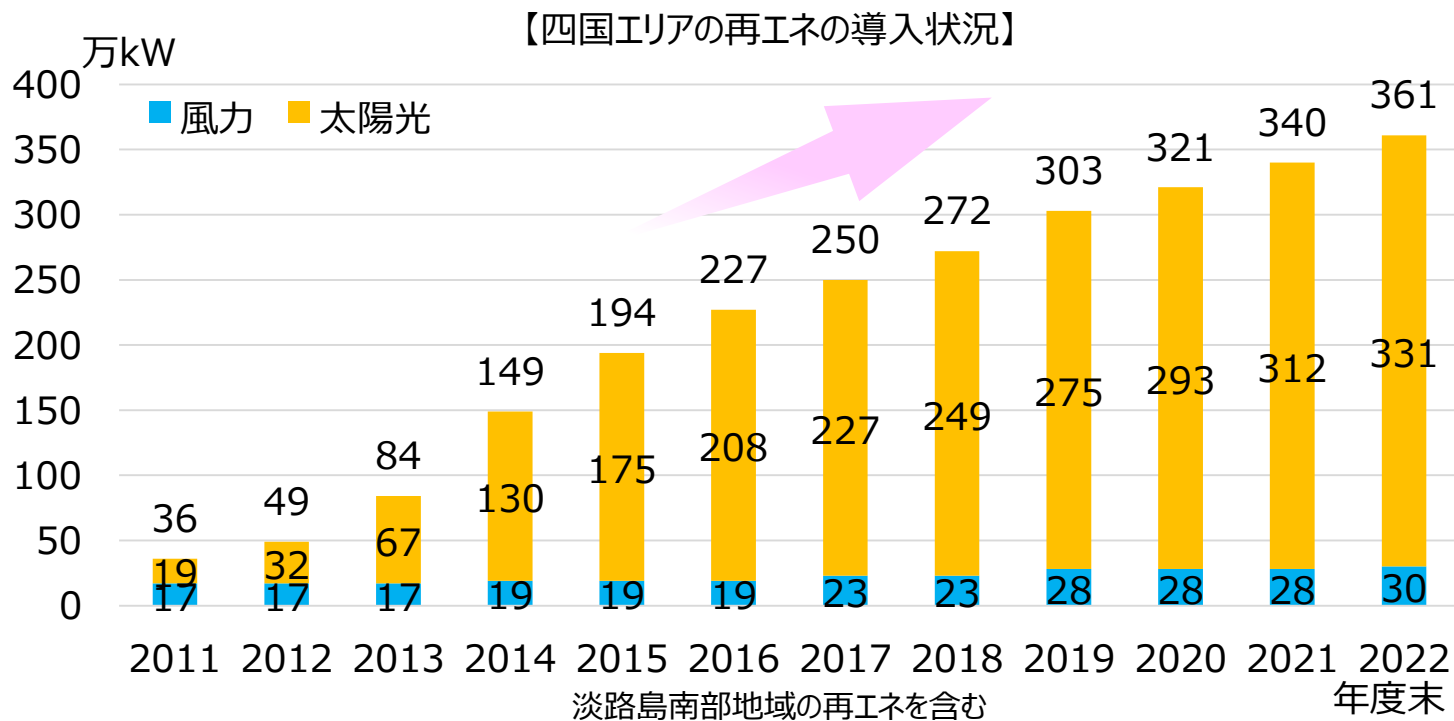
(66kV以上の系統に連系されているオフライン制御事業者さま向け)

2023年9月8日  
四国電力送配電株式会社

1. はじめに
2. 2023年度春季(4月～6月)の再エネ出力制御実績
3. オンライン化によるメリット
4. オンライン化に向けた対応
5. お問い合わせ先

# 1. はじめに

- 四国エリアでは再生可能エネルギー（以下、再エネ）発電設備の導入が進展しており、2022年4月9日(土)に初の再エネ出力制御を実施しました。
- 2023年度（4月～6月）は32回の再エネ出力制御を実施しており今後も再エネ出力制御が必要となる見込みであるため、**四国エリア内の再エネ出力制御の頻度および出力制御量の低減策のひとつとして、オンライン化を推奨しております。**
- 今回は、四国エリアにおけるこれまでの再エネ出力制御実績をふまえ、現地機器操作による出力制御を行っている事業者さまにおけるオンライン化の概要やメリットについてご説明いたします。



## 2. 2023年度春季（4～6月）の再エネ出力制御実績

- 2023年度春季の四国エリアにおける再エネ出力制御実績は以下のとおりです。
- 1日あたりの制御時間については、**オフライン制御が毎回8時間**であったのに対し、当社システムから送信されるスケジュールにより自動制御が可能な**オンライン制御は平均で約3.8時間**でした。
- なお、再エネ出力制御の実施にあたっては国が示すガイドライン※<sup>1</sup>に従い公平性を確保しているほか、**電力広域的運営推進機関による出力制御に関する指令の妥当性の検証※<sup>2</sup>により、全ての出力制御について「妥当である」と評価**されております。

※<sup>1</sup> 出力制御の公平性の確保に係る指針（資源エネルギー庁）

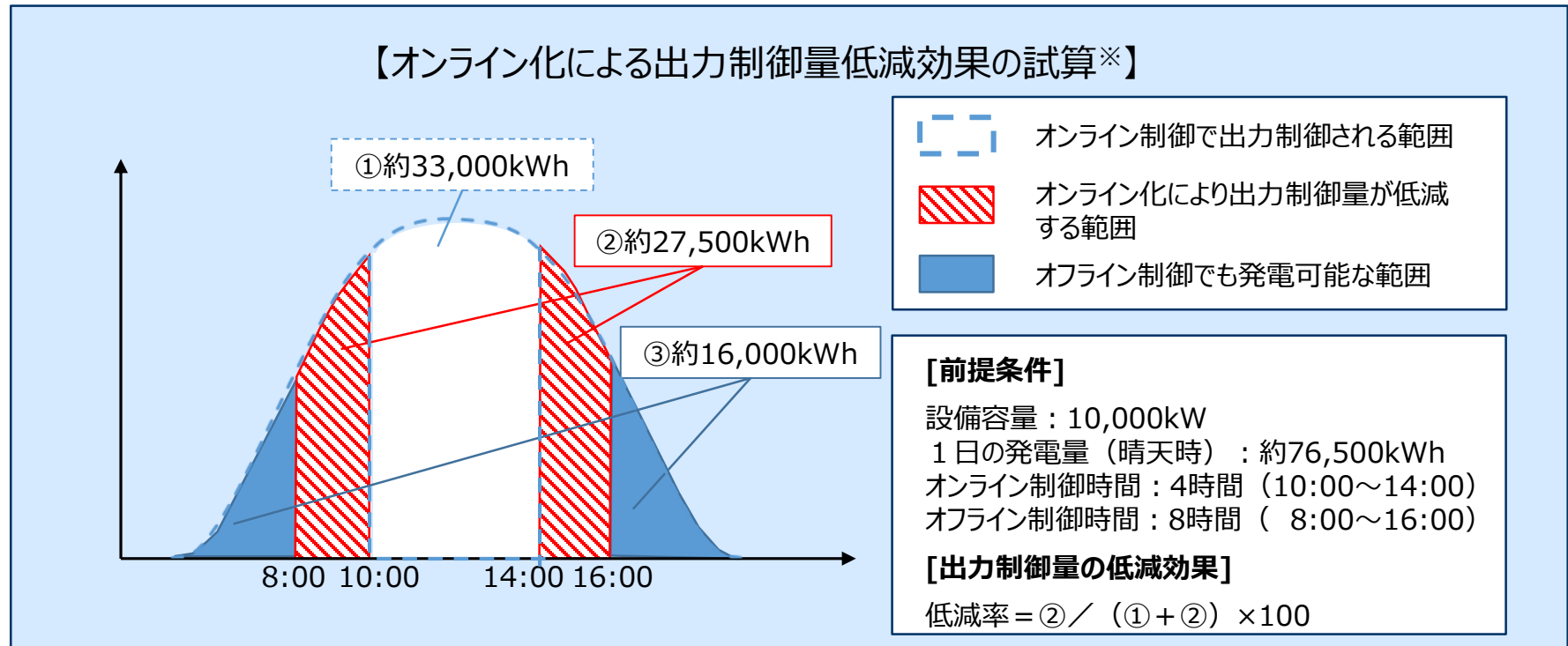
※<sup>2</sup> 電力広域的運営推進機関HP（<https://www.occto.or.jp/oshirase/shutsuryokuyokusei/>）

	オフライン制御	オンライン制御
制御時間 (1日あたり)	8時間	3.8時間※ <sup>3</sup>

※<sup>3</sup> オンライン制御全数の平均値

### 3. オンライン化によるメリット

- オンライン化することで、オフライン制御に比べ1日あたりの出力制御時間が少なくなり、**出力制御量の低減**が期待できます。  
四国エリアにおける2023年度春季の実績をふまえオンライン制御時間を4時間と仮定した場合、オンライン化により出力制御1回における制御量が**約45%\***（晴天日に約76,500kWhが発電可能な設備容量10,000kWの太陽光発電所であれば約27,500kWh）低減することとなります。
- また、オンライン化により**現地に出向く手間を省く**ことができます。

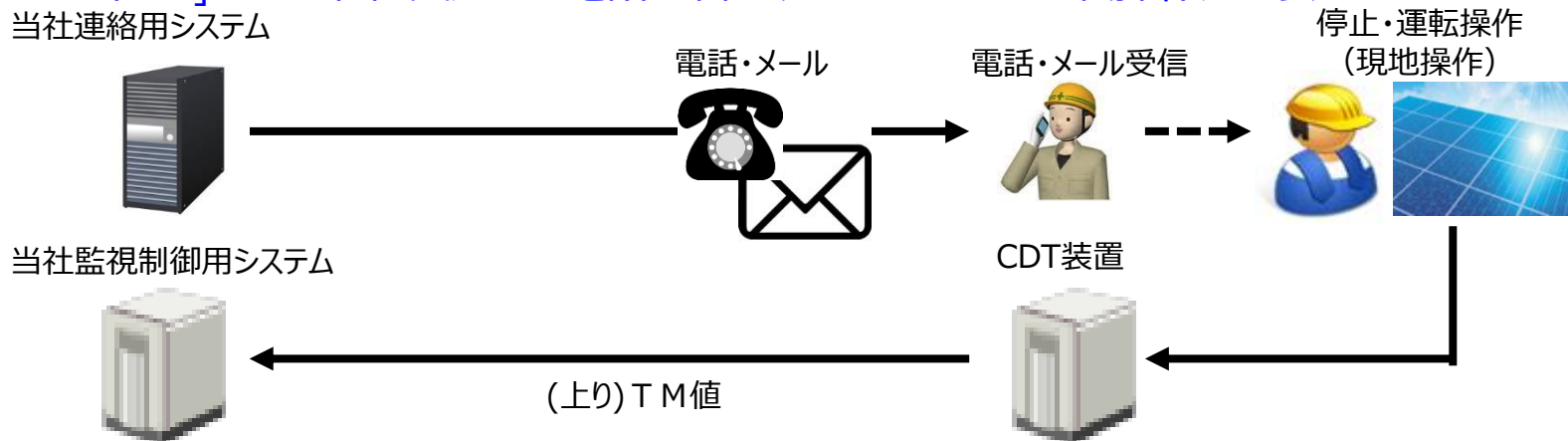


※ 一定の前提条件にもとづく試算値であり、その効果を保証するものではありません。

## 4. オンライン化に向けた対応

- オンライン化を希望される場合、弊社による給電用情報伝送装置（CDT）の工事等が必要となります。
- 出力制御実施時は、CDTからの制御信号によるオンライン制御となります。
- オンライン化に伴う工事等に関わる費用については、事業者さまのご負担となります。工事費負担金額や工期、工事概要等を算定しますので、「出力制御操作のオンライン化に伴う貴社設備の工事依頼について（工事依頼書）」をご提出ください。
- なお、事業者さま設備で必要となる工事(PCSの改造等)につきましては、メーカーさま等にお問い合わせください。

### [オンライン化前] 出力制御実施時、電話応答や現地での停止・運転操作が必要

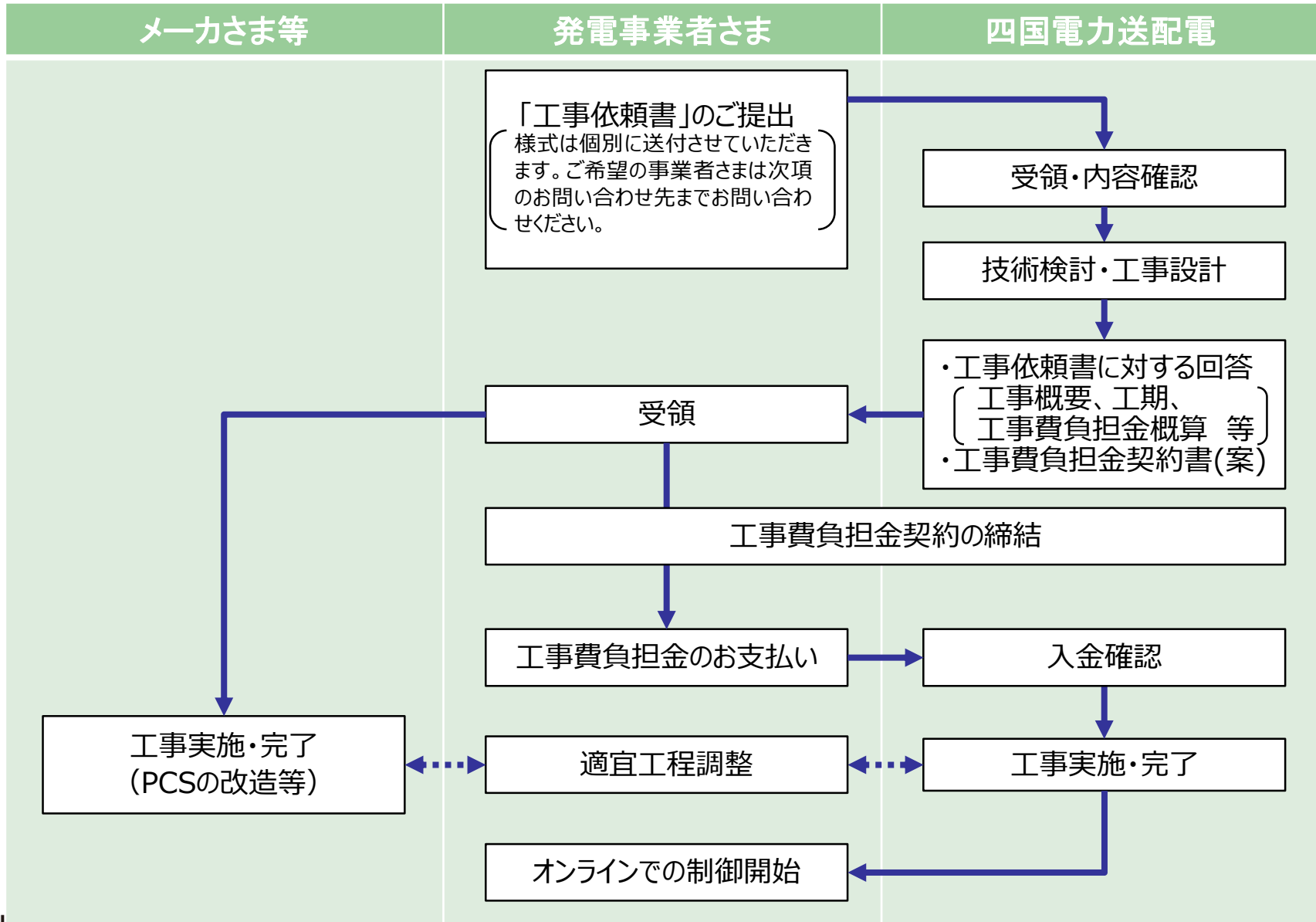


### [オンライン化後] 出力制御実施時、当社から遠隔で自動制御



## 4. オンライン化に向けた対応

- オンライン化に関する申込み手続きの流れ



## 5. お問い合わせ先

- ご不明点がございましたら、下記の弊社お問合せフォームよりお問い合わせください。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.yonden.co.jp/nw/inquiry/general/index.html>

※ 内容によってはお返事にお時間をいただく場合がございますが、ご容赦ください。